



2012年1月27日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代表者名 社 長 有岡 雅行
コード番号 5214 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 松本 元春
TEL 077(537)1700

平成24年3月期 連結業績予想に関するお知らせ

当社は、本日、平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の連結業績予想を公表しましたので、次のとおりお知らせします。当社を取り巻く事業環境は変化が激しく、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあるため、これまで当該期間に係る業績予想を公表しておらず、今回が初めての公表となります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	337,000 ～347,000	61,500 ～66,500	56,500 ～61,500	28,500 ～31,500	57.30 ～63.33
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	390,195	117,471	114,299	68,608	137.92

<備 考>

第4四半期(平成24年1月1日～3月31日)も、現下の厳しい事業環境が続くと予想しています。

電子・情報用ガラスでは、液晶用基板ガラスの需要は概ね第3四半期並みを見込みますが、厳しい市場環境が続く中で価格下落が懸念されます。一方で、薄板の出荷比率がさらに高まるものと予想しています。生産改善によりコストメリットを追求するとともに販売の底上げを図っていきます。プラズマディスプレイ用ガラスは、需要の急減により厳しい事業運営が続いていますが、今後のマーケットの状況や将来に対する見通しによっては、事業の局面がさらに悪化することが懸念されます。その他用ガラスでは、ガラスファイバは、今年度一杯は調整が続くと予想しています。住宅・建築その他分野は、なお低調な状況が続くと思われま。

費用面については、減価償却費や原燃料コストなど諸費用の増加が見込まれ、また為替の動向や在庫削減のための稼働調整の継続などが損益に悪影響を与えることが予想されます。当社としては、需要動向に則した稼働を行う中で、生産の安定を図るとともに費用の圧縮に努め、収益の確保に全力を上げていく所存です。

平成24年3月期の連結業績予想は、上表のとおり前期実績を下回る見込みです。

上記の見込み数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以上